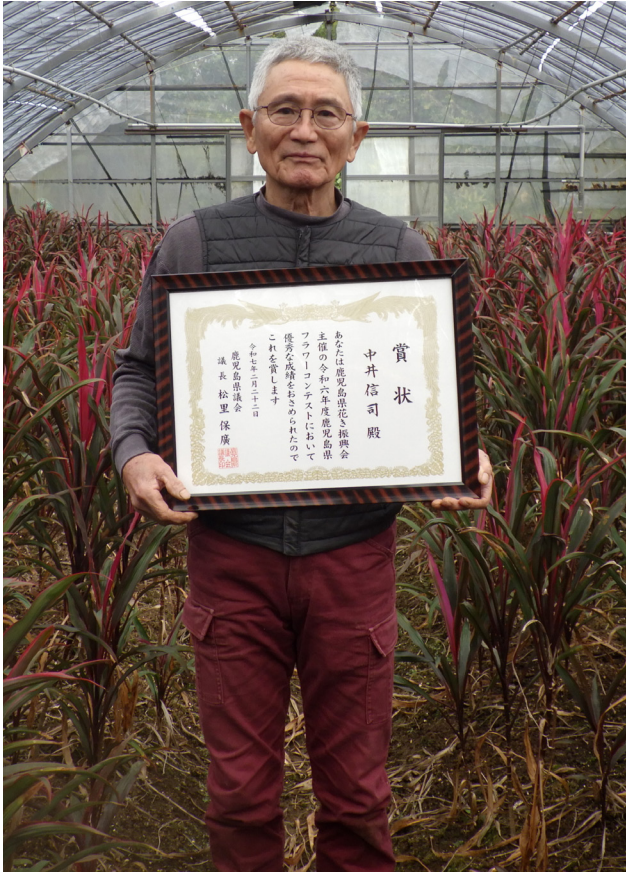


令和6年度鹿児島県フラワーコンテスト 種子屋久からの出品者が躍動！！



▲鹿児島県議会議長賞を受賞した中井さん



▲JA鹿児島県経済連会長賞を受賞した古市さん

2月20日、鹿児島県庁にて令和6年度フラワーコンテストが開催され、種子屋久管内からはレザリーフファン部門やフェニックスロベニー、シキミ、ヒサカキなどのその他葉物・枝物部門に出品を行いました。

県内からは11部門に245点もの出品があり、さまざまな花の香りが漂う中、審査員は大きさはもちろんのこと、色や形からその品種らしさが出ているかを確認していました。

審査の結果、JA種子屋久からレザリーフファン部門の金賞に南種子町の古市真也さんと雨田俊哉さん、その他葉物・枝物部門の金賞に屋久島町の中井信司さんと南種子町の落水純子さんが選出されました。その中でも、中井さんは鹿児島県議会議長賞、古市さんはJA鹿児島県経済連会長賞と、それぞれ特別賞も受賞しました。

また、レザリーフファン部門では銀賞に南種子町の松村沙奈絵さん、銅賞には中種子町の上川幸太郎さんが入賞。その他葉物・枝物部門では銀賞に中種子町の新道歩さんと南種子町の丸塚渡さん、銅賞には南種子町の堂原靖江さんが入賞しました。

2月22日・23日には鹿児島市のセンテラス天文館にてフラワーフェスタが開催され、入賞した花きの展示も行われました。

JA種子屋久管内では温暖な気候を活かし、国内一の生産量を誇るレザリーフファンをはじめフェニックスロベニー、シキミやヒサカキといった葉物・枝物の栽培が盛んです。高齢化の影響などもありますが、担い手育成にも積極的に取り組んでおり、今後もブランド産地の確立に向け、様々な活動を予定しております。